

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成25年8月7日

**【四半期会計期間】** 第67期第1四半期(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

**【会社名】** アトムクス株式会社

**【英訳名】** ATOMIX CO.,LTD.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 小林 和幸

**【本店の所在の場所】** 東京都板橋区舟渡三丁目9番6号

**【電話番号】** 03(3969)3111

**【事務連絡者氏名】** 管理統括部長 富士田 学

**【最寄りの連絡場所】** 東京都千代田区神田富山町18番地

**【電話番号】** 03(5297)1801

**【事務連絡者氏名】** 管理統括部長 富士田 学

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次 会計期間	第66期 第1四半期 連結累計期間		第67期 第1四半期 連結累計期間		第66期	
	自 至	平成24年4月1日 平成24年6月30日	自 至	平成25年4月1日 平成25年6月30日	自 至	平成24年4月1日 平成25年3月31日
売上高 (千円)		2,594,670		2,710,731		10,993,527
経常利益 (千円)		48,318		92,206		431,128
四半期(当期)純利益 (千円)		1,309		39,641		227,825
四半期包括利益又は包括利益 (千円)		18,612		90,651		301,172
純資産額 (千円)		8,877,714		9,152,836		9,146,605
総資産額 (千円)		13,127,650		13,344,909		13,757,322
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)		0.15		4.69		26.98
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)						
自己資本比率 (%)		67.6		68.6		66.5

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成していますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。  
2. 売上高には、消費税等は含まれていません。  
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

#### 2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社、以下同じ)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の異常な変動等又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものです。

#### (1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権による経済対策や日銀による金融政策の効果により円安・株高が進み景気回復への兆しがみられたものの、原材料価格の高騰によるコスト増加や物価上昇等による個人消費の動きが鈍いなど景気の下振れ懸念があり、依然として先行きが不透明な状況が続いています。このような状況のもと、当社グループは製品ラインアップの拡充を図り、顧客ニーズへの対応に取り組んできました。また、従来、事業部内に組織していた技術部を技術本部として独立させ、より一層の製品開発、性能向上に向けて強化を図ってきました。この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高27億10百万円（前年同期 売上高25億94百万円）、営業利益80百万円（同 48百万円）、経常利益92百万円（同 48百万円）、四半期純利益39百万円（同 1百万円）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

#### < 塗料販売事業 >

道路用塗料におきましては、東北地方への出荷が順調に推移していることとともに、低迷していました西日本地区への出荷が緩やかながらも回復してきたことにより、出荷量は前年を上回ることができました。床用塗料におきましては、民間企業の設備投資が若干増加したことにより出荷量は前年を上回ることができました。家庭塗料におきましては、個人消費全般がまだまだ低調な状況にあることと天候不順が影響し、出荷量は前年を下回りました。この結果、当第1四半期連結累計期間の塗料販売事業の売上高は前年同期に比べて90百万円増加し、25億33百万円（前年同期比 3.7%増）となりました。

#### < 施工事業 >

子会社アトムテクノス(株)で、コンクリート構造物補修工事が完成し売上計上したことで床塗装工事の受注増加により、当第1四半期連結累計期間の施工事業の売上高は前年同期に比べて26百万円増加し、1億77百万円（同 17.2%増）となりました。

## (2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて4億12百万円減少し、133億44百万円となりました。これは主に流動資産の減少によるもので、現金及び預金で3億85百万円、受取手形及び売掛金で53百万円減少したためです。

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて4億18百万円減少し、41億92百万円となりました。これは主に流動負債の減少によるもので、支払手形及び買掛金で1億7百万円、未払法人税等で1億13百万円、引当金で1億75百万円減少したためです。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて6百万円増加し、91億52百万円となりました。これは利益剰余金からの配当で84百万円減少したものの、その他包括利益累計額で51百万円増加し、四半期純利益を39百万円計上したためです。

## (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

## (4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発費の総額は49百万円で、遮熱塗料などの機能製品の性能向上、防水材の耐汚染性の向上、コーティング材の開発など全て塗料販売事業の研究開発に投入しました。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	30,000,000
計	30,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年8月7日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	9,440,000	9,440,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	9,440,000	9,440,000		

(注) 大阪証券取引所は、平成25年7月16日付で東京証券取引所と現物市場を統合していますので、同日以降の上場金融商品取引所は、東京証券取引所です。

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年4月1日 ～平成25年6月30日		9,440,000		1,040,000		680,400

##### (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしています。

【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 997,000		単元株式数 1,000株
完全議決権株式(その他)	普通株式 8,439,000	8,439	同上
単元未満株式	普通株式 4,000		
発行済株式総数	9,440,000		
総株主の議決権		8,439	

【自己株式等】

平成25年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
アトムクス株式会社	東京都板橋区舟渡3-9-6	997,000		997,000	10.56
計		997,000		997,000	10.56

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しています。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、監査法人保森会計事務所による四半期レビューを受けています。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,614,838	2,229,551
受取手形及び売掛金	<sup>2</sup> 4,592,076	<sup>2</sup> 4,538,438
商品及び製品	1,017,676	1,050,478
仕掛品	165,990	189,301
原材料及び貯蔵品	532,955	514,973
その他	171,767	149,800
貸倒引当金	88,876	97,664
流動資産合計	9,006,428	8,574,879
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,744,050	2,744,050
その他(純額)	1,280,335	1,282,105
有形固定資産合計	4,024,385	4,026,155
無形固定資産	189,408	186,898
投資その他の資産	<sup>1</sup> 537,100	<sup>1</sup> 556,974
固定資産合計	4,750,894	4,770,029
資産合計	13,757,322	13,344,909
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	<sup>2</sup> 2,894,090	<sup>2</sup> 2,786,945
短期借入金	342,936	307,225
未払法人税等	132,757	19,352
引当金	249,046	73,987
その他	<sup>2</sup> 474,825	<sup>2</sup> 478,317
流動負債合計	4,093,655	3,665,827
固定負債		
退職給付引当金	276,194	280,034
役員退職慰労引当金	136,029	138,739
資産除去債務	38,943	39,084
その他	65,893	68,385
固定負債合計	517,061	526,244
負債合計	4,610,717	4,192,072

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,040,000	1,040,000
資本剰余金	680,400	680,400
利益剰余金	7,745,100	7,700,321
自己株式	380,175	380,175
株主資本合計	9,085,324	9,040,545
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	73,241	90,045
為替換算調整勘定	11,960	22,245
その他の包括利益累計額合計	61,280	112,291
純資産合計	9,146,605	9,152,836
負債純資産合計	13,757,322	13,344,909

(2)【四半期連結損益及び包括利益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
<b>売上高</b>		
商品及び製品売上高	2,442,961	2,533,001
工事売上高	151,709	177,729
売上高合計	2,594,670	2,710,731
<b>売上原価</b>		
商品及び製品売上原価	1,681,899	1,742,139
工事売上原価	142,932	147,643
売上原価合計	1,824,832	1,889,782
<b>売上総利益</b>	769,838	820,948
販売費及び一般管理費	721,782	740,010
<b>営業利益</b>	48,056	80,937
<b>営業外収益</b>		
受取利息	24	30
受取配当金	3,235	3,401
為替差益	-	5,964
その他	4,187	3,160
営業外収益合計	7,447	12,556
<b>営業外費用</b>		
支払利息	1,759	1,287
為替差損	5,424	-
営業外費用合計	7,184	1,287
<b>経常利益</b>	48,318	92,206
<b>特別損失</b>		
固定資産除却損	125	5,815
子会社清算損	11,237	-
リース解約損	2,151	-
特別損失合計	13,514	5,815
税金等調整前四半期純利益	34,804	86,390
法人税、住民税及び事業税	8,775	17,629
法人税等調整額	24,719	29,120
法人税等合計	33,495	46,749
少数株主損益調整前四半期純利益	1,309	39,641
<b>四半期純利益</b>	1,309	39,641
少数株主損益調整前四半期純利益	1,309	39,641
<b>その他の包括利益</b>		
その他有価証券評価差額金	10,946	16,804
為替換算調整勘定	28,250	34,206
その他の包括利益合計	17,303	51,010
<b>四半期包括利益</b>	18,612	90,651
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	18,612	90,651
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日至平成25年6月30日)
1. 税金費用の計算	税金費用については、一部の連結子会社においては、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純損益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
投資その他の資産	6,139	6,139

2 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしています。

なお、当第1四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれています。

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
受取手形	166,521	134,381
支払手形	145,842	133,244
その他(設備関係支払手形)	7,357	3,293

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む)は、次のとおりです。

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日至平成25年6月30日)
減価償却費	60,742	67,815

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	84,420	10	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	84,420	10	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	塗料販売事業	施工事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	2,442,961	151,709	2,594,670	2,594,670
セグメント間の内部売上高 又は振替高	251	-	251	251
計	2,443,213	151,709	2,594,922	2,594,922
セグメント利益又は損失( )	138,947	586	138,360	138,360

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額  
及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	138,360
全社費用(注)	90,304
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	48,056

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	塗料販売事業	施工事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	2,533,001	177,729	2,710,731	2,710,731
セグメント間の内部売上高 又は振替高	11,244	-	11,244	11,244
計	2,544,246	177,729	2,721,975	2,721,975
セグメント利益	166,181	8,329	174,510	174,510

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額  
 及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	174,510
全社費用(注)	93,572
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	80,937

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
 該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりです。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額(円)	0.15	4.69
(算定上の基礎)		
四半期純利益(千円)	1,309	39,641
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	1,309	39,641
期中平均株式数(千株)	8,442	8,442

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 8月 6日

アトミクス株式会社  
取締役会 御中

監査法人 保森会計事務所

代表社員  
業務執行社員 公認会計士 三 枝 哲 印

代表社員  
業務執行社員 公認会計士 小 山 貴 久 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているアトミクス株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益及び包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、アトミクス株式会社及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。  
以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。